



平成22年4月19日

各 位

ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社
代表取締役社長 青木毅
(コード番号:3390)
問合せ先 取締役管理本部長 村上孝徳
電話番号 03-6858-0411

**(訂正)「平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況(非連結)」
の一部訂正に関するお知らせ**

当社は、平成22年3月26日付「過去の業績に影響を与える事象の発生及び社内調査委員会の設置に関するお知らせ」を公表いたしましたとおり、その具体的な訂正内容が確定いたしましたので別添のとおり訂正いたします。

なお、訂正箇所につきましては、訂正前と訂正後をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正を行う平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況(非連結)について
決算期:平成19年3月期 第1四半期(平成18年4月1日～平成18年6月30日)
公表日:平成18年8月10日

以 上

(訂正前)

平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（非連結）

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：無

② 最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：無

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

当社は、平成17年10月に上場しており、前年第1四半期にかかる開示を行っていないため、前年同四半期の実績および増減率の記載を行っておりません。

また、平成18年4月1日をもって、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っており、当第1四半期末の発行済株式総数は39,156株増加し58,734株となっております。

(1) 経営成績の進捗状況

(千円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
19年3月期第1四半期	707,897	(—)	△68,227	(—)	△71,070	(—)	△42,561	(—)
18年3月期第1四半期	—	(—)	—	(—)	—	(—)	—	(—)
(参考)18年3月期	3,508,033		273,283		227,939		117,158	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	千円	銭	千円	銭
19年3月期第1四半期	△724	65	△709	12
18年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考)18年3月期	6,592	65	6,503	72

(注)期中平均株式数

19年3月期第1四半期 58,734株

18年3月期第1四半期 一株

18年3月期 17,771株

[当社の業績特性及び当事業年度の業績の説明]

当社は「社会にとって真に価値あるソリューションを」という経営理念の下、顧客のニーズに対応したソリューションシステムをASP形式で提供するというソリューションシステムアウトソーシング事業を主力事業として展開しております。このソリューションシステムアウトソーシング事業はパッケージソフトウェアの提供と異なり、当社のユニバーサルプラットフォーム上に顧客毎にソリュー

ションシステムを構築いたします。この結果、システムリリースが顧客の事業年度末である3月頃（当社第4四半期）に集中する傾向にあり、当社の売上及び利益は第4四半期に偏重する傾向があります。

当事業年度におきましては、主力のソリューションシステムアウトソーシング事業ならびにeコマース事業は引き続き着実に成果を上げておりますが、当期から新たに当社の技術力とノウハウを結集した「介護ソリューションシステムパッケージ」並びに顧客の重要なデータ資産を守る新概念のデータストレージサービスである「Security Data Box」の開発および商品化を進めてまいりましたため、これらのサービス提供開始に伴う研究開発費用、及び商品化費用が先行し、「売上原価」および「販売費および一般管理費」が増加いたしました。そのため第1四半期の営業利益および経常利益はマイナスとなっております。

なお、中間期におきましては、この傾向が継続するものの、通期におきましては、第2四半期から販売を開始し、順調に展開しております「介護ソリューションシステムパッケージ」と「Security Data Box」の売上が下半期より本格的に見込めることや、第4四半期において現在構築中のソリューションシステムが順次リリースされることから、営業利益および経常利益は当初計画通りの利益水準を確保する見込みです。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

主力のソリューションシステムアウトソーシング事業（ASP事業）におきましては、既存顧客に対するサービス提供は着実に成果を上げており、また、新規受注につきましても順調に推移しており、各々下半期のシステムリリースに向けて構築を進めております。

eコマース事業におきましてもほぼ計画どおりの営業成績で推移いたしました。

また、第2四半期より販売を開始した「介護ソリューションシステムパッケージ」と「Security Data Box」につきましては、研究開発費と商品化費用が上半期に先行いたしますが、順調に開発、商品化が完了し下半期以降本格的に売上、利益に寄与してくる見込みです。

以上の結果、当第1四半期における売上高は707,897千円となり、営業損失は68,227千円、経常損失は71,070千円となりました。

(2) 財政状態の変動状況（千円未満切捨て）

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	千円	千円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	2,303,093	1,607,387	69.8	27,367 24
18年3月期第1四半期	—	—	—	— —
(参考)18年3月期	<u>2,534,909</u>	<u>1,649,949</u>	<u>65.1</u>	<u>84,275</u> <u>70</u>

(注) 期末発行済株式数 19年3月期第1四半期 58,734株
18年3月期第1四半期 一株
18年3月期 19,578株

【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	千円	千円	千円	千円
19年3月期第1四半期	231,454	△83209	△19981	1,020,866
18年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考)18年3月期	190,835	△515363	294,997	892,602

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

1. 財政状態

(流動資産)

当第1四半期末における流動資産は、前事業年度末と比べ256,859千円減少し、1,420,502千円となりました。その主な要因は、現預金の増加128,263千円、売上代金回収に伴う売掛金の減少428,197千円および繰延税金資産の増加28,965千円であります。

(固定資産)

当第1四半期末における固定資産は、前事業年度末と比べ25,616千円増加し、874,881千円となりました。その主な要因は、システムの増強によるソフトウェアの増加66,426千円およびソフトウェア仮勘定のソフトウェア勘定への振替による減少27,399千円によるものです。

(流動負債)

当第1四半期末における流動負債は、前事業年度末と比べ185,536千円減少し、462,742千円となりました。その主な要因は、買掛金の減少118,291千円、未払金の増加47,130千円、未払法人税等の減少67,914千円、賞与引当金の減少16,325千円によるものです。

(固定負債)

当第1四半期末における固定負債は、前事業年度末と比べ3,717千円減少し、232,963千円となりました。その主な要因は、長期借入金の減少3,486千円によるものです。

(資本)

当第1四半期末における資本は、前事業年度末と比べ42,561千円減少し、1,607,387千円となりました。その主な要因は、当期純損失42,561千円によるものです。

2. キャッシュ・フロー

当第1四半期におけるキャッシュ・フローについては、営業活動により231,454千円獲得、投資活動により83,209千円使用、財務活動により19,981千円支出し、その結果獲得した資金は128,263千円となり、当第1四半期末残高は1,020,866千円となりました。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動の結果獲得した資金は、231,454千円となりました。これは主に税引前四半期純損失の計上70,252千円、減価償却費の計上36,737千円、売上債権の減少428,197千円、仕入債務の減少118,291千円、未払金の増加68,479千円、法人税等の支払額66,785千円などによるものです。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動に使用した資金は、83,209 千円となりました。これは主にソフトウェアの取得による支出 68,663 千円によるものです。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動の結果支出した資金は、19,981 千円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出 13,486 千円、未払金の返済による支出 3,139 千円、株式発行による支出 3,097 千円などによるものです。

当社のキャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりであります。

	平成 18 年 3 月期	平成 19 年 3 月期
	期末	第 1 四半期
自己資本比率(%)	65.1	69.8
債務償還年数(年)	1.5	0.3
インタレスト・ガバレッジ・レシオ(倍)	31.2	186.9

自己資本比率：自己資本／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを利用しております。有利子負債は（四半期）貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(訂正後)

平成 19 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況 (非連結)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

② 最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成 19 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 6 月 30 日)

当社は、平成 17 年 10 月に上場しており、前年第 1 四半期にかかる開示を行っていないため、前年同四半期の実績および増減率の記載を行っておりません。

また、平成 18 年 4 月 1 日をもって、普通株式 1 株につき 3 株の割合で株式分割を行っており、当第 1 四半期末の発行済株式総数は 39,156 株増加し 58,734 株となっております。

(1) 経営成績の進捗状況 (千円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
19 年 3 月期第 1 四半期	<u>929,266</u>	(—)	<u>153,141</u>	(—)	<u>150,298</u>	(—)	<u>92,243</u>	(—)
18 年 3 月期第 1 四半期	—	(—)	—	(—)	—	(—)	—	(—)
(参考)18 年 3 月期	<u>3,286,664</u>		<u>51,914</u>		<u>6,570</u>		<u>△17,646</u>	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	千円	銭	千円	銭
19 年 3 月期第 1 四半期	<u>1,570</u>	<u>52</u>	<u>1,536</u>	<u>87</u>
18 年 3 月期第 1 四半期	—	—	—	—
(参考)18 年 3 月期	<u>△993</u>	<u>01</u>	—	—

(注)期中平均株式数 19 年 3 月期第 1 四半期 58,734 株
18 年 3 月期第 1 四半期 一株
18 年 3 月期 17,771 株

[当社の業績特性及び当事業年度の業績の説明]

当社は「社会にとって真に価値あるソリューションを」という経営理念の下、顧客のニーズに対応したソリューションシステムをASP形式で提供するというソリューションシステムアウトソーシング事業を主力事業として展開しております。このソリューションシステムアウトソーシング事業はパ

パッケージソフトウェアの提供と異なり、当社のユニバーサルプラットフォーム上に顧客毎にソリューションシステムを構築いたします。この結果、システムリリースが顧客の事業年度末である3月頃（当社第4四半期）に集中する傾向にあり、当社の売上及び利益は第4四半期に偏重する傾向があります。当事業年度におきましては、主力のソリューションシステムアウトソーシング事業ならびにeコマース事業は引き続き着実に成果を上げておりますが、当期から新たに当社の技術力とノウハウを結集した「介護ソリューションシステムパッケージ」並びに顧客の重要なデータ資産を守る新概念のデータストレージサービスである「Security Data Box」の開発および商品化を進めてまいりましたため、これらのサービス提供開始に伴う研究開発費用、及び商品化費用が先行し、「売上原価」および「販売費および一般管理費」が増加いたしました。

なお、中間期におきましては、この傾向が継続するものの、通期におきましては、第2四半期から販売を開始し、順調に展開しております「介護ソリューションシステムパッケージ」と「Security Data Box」の売上が下半期より本格的に見込めることや、第4四半期において現在構築中のソリューションシステムが順次リリースされることから、営業利益および経常利益は当初計画通りの利益水準を確保する見込みです。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

主力のソリューションシステムアウトソーシング事業（ASP事業）におきましては、既存顧客に対するサービス提供は着実に成果を上げており、また、新規受注につきましても順調に推移しており、各々下半期のシステムリリースに向けて構築を進めております。

eコマース事業におきましてもほぼ計画どおりの営業成績で推移いたしました。

また、第2四半期より販売を開始した「介護ソリューションシステムパッケージ」と「Security Data Box」につきましては、研究開発費と商品化費用が上半期に先行いたしますが、順調に開発、商品化が完了し下半期以降本格的に売上、利益に寄与してくる見込みです。

以上の結果、当第1四半期における売上高は 929,266 千円となり、営業利益は 153,141 千円、経常利益は 150,298 千円となりました。

(2) 財政状態の変動状況（千円未満切捨て）

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	千円	千円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	2,303,093	1,607,387	69.8	27,367 24
18年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考)18年3月期	<u>2,400,104</u>	<u>1,515,144</u>	<u>63.1</u>	<u>77,390</u> <u>18</u>

(注) 期末発行済株式数 19年3月期第1四半期 58,734株
18年3月期第1四半期 一株
18年3月期 19,578株

【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	千円	千円	千円	千円
19年3月期第1四半期	231,454	△83,209	△19,981	1,020,866
18年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考)18年3月期	190,835	△515,363	294,997	892,602

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

1. 財政状態

(流動資産)

当第1四半期末における流動資産は、前事業年度末と比べ122,054千円減少し、1,420,502千円となりました。その主な要因は、現預金の増加128,263千円、売上代金回収に伴う売掛金の減少195,759千円および繰延税金資産の減少57,599千円であります。

(固定資産)

当第1四半期末における固定資産は、前事業年度末と比べ25,616千円増加し、874,881千円となりました。その主な要因は、システムの増強によるソフトウェアの増加66,426千円およびソフトウェア仮勘定のソフトウェア勘定への振替による減少27,399千円によるものです。

(流動負債)

当第1四半期末における流動負債は、前事業年度末と比べ185,536千円減少し、462,742千円となりました。その主な要因は、買掛金の減少118,291千円、未払金の増加47,130千円、未払法人税等の減少67,914千円、賞与引当金の減少16,325千円によるものです。

(固定負債)

当第1四半期末における固定負債は、前事業年度末と比べ3,717千円減少し、232,963千円となりました。その主な要因は、長期借入金の減少3,486千円によるものです。

(資本)

当第1四半期末における資本は、前事業年度末と比べ92,243千円増加し、1,607,387千円となりました。その主な要因は、当期純利益92,243千円によるものです。

2. キャッシュ・フロー

当第1四半期におけるキャッシュ・フローについては、営業活動により231,454千円獲得、投資活動により83,209千円使用、財務活動により19,981千円支出し、その結果獲得した資金は128,263千円となり、当第1四半期末残高は1,020,866千円となりました。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動の結果獲得した資金は、231,454千円となりました。これは主に税引前四半期純損失の計上70,252千円、減価償却費の計上36,737千円、売上債権の減少428,197千円、仕入債務の減少118,291千円、未払金の増加68,479千円、法人税等の支払額66,785千円などによるものです。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動に使用した資金は、83,209 千円となりました。これは主にソフトウェアの取得による支出 68,663 千円によるものです。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動の結果支出した資金は、19,981 千円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出 13,486 千円、未払金の返済による支出 3,139 千円、株式発行による支出 3,097 千円などによるものです。

当社のキャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりであります。

	平成 18 年 3 月期	平成 19 年 3 月期
	期末	第 1 四半期
自己資本比率(%)	<u>63.1</u>	69.8
債務償還年数(年)	1.5	0.3
インタレスト・ガバレッジ・レシオ(倍)	31.2	186.9

自己資本比率：自己資本／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを利用しております。有利子負債は（四半期）貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(訂正前)

1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位:千円、%)

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 期第 1 四半期 末)	前年同四半期 (平成 18 年 3 期第 1 四半期 末)	増 減		(参考) 平成 18 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金	1,020,866	—	—		892,602
2 売掛金	282,394	—	—		710,591
3 たな卸資産	7,486	—	—		—
4 前払費用	48,019	—	—		47,487
5 繰延税金資産	60,458	—	—		31,493
6 未収入金	36,096	—	—		32,934
7 その他	7,543	—	—		5,433
8 貸倒引当金	△42,363	—	—		△43,181
流動資産合計	1,420,502	—	—	—	1,677,361
II 固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物	11,758	—	—		12,191
(2) 構築物	111	—	—		115
(3) 工具器具備品	17,943	—	—		18,770
有形固定資産合計	29,813	—	—		31,078
2 無形固定資産					
(1) 営業権	42,000	—	—		48,000
(2) ソフトウェア	447,015	—	—		380,588
(3) ソフトウェア仮勘定	—	—	—		27,399
(4) 電話加入権	1,624	—	—		1,624
(5) その他	131	—	—		137
無形固定資産合計	490,771	—	—		457,750
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	250,785	—	—		250,785
(2) 従業員長期貸付金	422	—	—		422
(3) 長期前払費用	7,155	—	—		12,522
(4) 繰延税金資産	2,397	—	—		2,838
(5) 敷金・保証金	93,534	—	—		93,866
投資その他の資産合計	354,296	—	—		360,435
固定資産合計	874,881	—	—	—	849,264
III 繰延資産					
1 新株発行費	5,410	—	—		5,215
2 社債発行費	2,300	—	—		3,066
繰延資産合計	7,710	—	—	—	8,282
資産合計	2,303,093	—	—	—	2,534,909

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 期第 1 四半期 末)	前年同四半期 (平成 18 年 3 期第 1 四半期 末)	増 減		(参考) 平成 18 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
I 流動負債					
1 買掛金	234,794	—	—		353,086
2 1 年内返済予定長期借 入金	43,944	—	—		53,944
3 未払金	155,093	—	—		107,962
4 未払費用	12,136	—	—		21,205
5 未払法人税等	1,793	—	—		69,708
6 未払消費税等	3,603	—	—		16,100
7 預り金	6,464	—	—		5,034
8 賞与引当金	4,912	—	—		21,238
流動負債合計	462,742	—	—	—	648,278
II 固定負債					
1 社債	200,000	—	—		200,000
2 長期借入金	18,626	—	—		22,112
3 退職給付引当金	5,891	—	—		6,974
4 その他	8,446	—	—		7,594
固定負債合計	232,963	—	—	—	236,681
負債合計	695,706	—	—	—	884,959
(資本の部)					
I 資本金	—	—	—	—	915,900
II 資本剰余金	—	—	—	—	522,950
III 利益剰余金	—	—	—	—	211,099
資本合計	—	—	—	—	1,649,949
負債及び資本合計	—	—	—	—	2,534,909
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	915,900	—	—		—
2 資本剰余金	522,950	—	—		—
3 利益剰余金	168,537	—	—		—
株主資本合計	1,607,387	—	—	—	—
純資産合計	1,607,387	—	—	—	—
負債、純資産合計	2,303,093	—	—	—	—

(訂正後)

1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位:千円、%)

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 期第 1 四半期 末)	前年同四半期 (平成 18 年 3 期第 1 四半期 末)	増 減		(参考) 平成 18 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金	1,020,866	—	—		892,602
2 売掛金	282,394	—	—		478,154
3 たな卸資産	7,486	—	—		—
4 前払費用	48,019	—	—		47,487
5 繰延税金資産	60,458	—	—		118,058
6 未収入金	36,096	—	—		32,934
7 その他	7,543	—	—		16,501
8 貸倒引当金	△42,363	—	—		△43,181
流動資産合計	1,420,502	—	—	—	1,542,557
II 固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物	11,758	—	—		12,191
(2) 構築物	111	—	—		115
(3) 工具器具備品	17,943	—	—		18,770
有形固定資産合計	29,813	—	—		31,078
2 無形固定資産					
(1) 営業権	42,000	—	—		48,000
(2) ソフトウェア	447,015	—	—		380,588
(3) ソフトウェア仮勘定	—	—	—		27,399
(4) 電話加入権	1,624	—	—		1,624
(5) その他	131	—	—		137
無形固定資産合計	490,771	—	—		457,750
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	250,785	—	—		250,785
(2) 従業員長期貸付金	422	—	—		422
(3) 長期前払費用	7,155	—	—		12,522
(4) 繰延税金資産	2,397	—	—		2,838
(5) 敷金・保証金	93,534	—	—		93,866
投資その他の資産合計	354,296	—	—		360,435
固定資産合計	874,881	—	—	—	849,264
III 繰延資産					
1 新株発行費	5,410	—	—		5,215
2 社債発行費	2,300	—	—		3,066
繰延資産合計	7,710	—	—	—	8,282
資産合計	2,303,093	—	—	—	2,400,104

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 期第 1 四半期 末)	前年同四半期 (平成 18 年 3 期第 1 四半期 末)	増 減		(参考) 平成 18 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
I 流動負債					
1 買掛金	234,794	—	—		353,086
2 1 年内返済予定長期借 入金	43,944	—	—		53,944
3 未払金	155,093	—	—		107,962
4 未払費用	12,136	—	—		21,205
5 未払法人税等	1,793	—	—		69,708
6 未払消費税等	3,603	—	—		16,100
7 預り金	6,464	—	—		5,034
8 賞与引当金	4,912	—	—		21,238
流動負債合計	462,742	—	—	—	648,278
II 固定負債					
1 社債	200,000	—	—		200,000
2 長期借入金	18,626	—	—		22,112
3 退職給付引当金	5,891	—	—		6,974
4 その他	8,446	—	—		7,594
固定負債合計	232,963	—	—	—	236,681
負債合計	695,706	—	—	—	884,959
(資本の部)					
I 資本金	—	—	—	—	915,900
II 資本剰余金	—	—	—	—	522,950
III 利益剰余金	—	—	—	—	76,294
資本合計	—	—	—	—	1,515,144
負債及び資本合計	—	—	—	—	2,400,104
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	915,900	—	—		—
2 資本剰余金	522,950	—	—		—
3 利益剰余金	168,537	—	—		—
株主資本合計	1,607,387	—	—	—	—
純資産合計	1,607,387	—	—	—	—
負債、純資産合計	2,303,093	—	—	—	—

(訂正前)

2. (要約) 四半期損益計算書

(単位:千円、%)

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 期 第 1 四半期)	前年同四半期 (平成 18 年 3 期 第 1 四半期)	増 減		(参考) 平成 18 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	707,897	—	—	—	3,508,033
II 売上原価	574,380	—	—	—	2,579,922
売上総利益	133,517	—	—	—	928,111
III 販売費及び一般 管理費	201,745	—	—	—	654,827
営業利益 (又は営業損失)	<u>△68,227</u>	—	—	—	<u>273,283</u>
IV 営業外収益	47	—	—	—	3,667
V 営業外費用	2,890	—	—	—	49,011
経常利益 (又は経常損失)	<u>△71,070</u>	—	—	—	<u>227,939</u>
VI 特別利益	818	—	—	—	25,162
VII 特別損失	—	—	—	—	40,733
税引前四半期(当 期)純利益 (又は税引前四半 期(当期)純損失)	<u>△70,252</u>	—	—	—	<u>212,369</u>
税金費用	<u>△27,690</u>	—	—	—	<u>95,211</u>
四半期(当期)純利 益(又は四半期(当 期)純損失)	<u>△42,561</u>	—	—	—	<u>117,158</u>

(訂正後)

2. (要約) 四半期損益計算書

(単位:千円、%)

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 期 第 1 四半期)	前年同四半期 (平成 18 年 3 期 第 1 四半期)	増 減		(参考) 平成 18 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	929,266	—	—	—	3,286,664
II 売上原価	574,380	—	—	—	2,579,922
売上総利益	354,886	—	—	—	706,742
III 販売費及び一般 管理費	201,745	—	—	—	654,827
営業利益	<u>153,141</u>	—	—	—	<u>51,914</u>
IV 営業外収益	47	—	—	—	3,667
V 営業外費用	2,890	—	—	—	49,011
経常利益	<u>150,298</u>	—	—	—	<u>6,570</u>
VI 特別利益	818	—	—	—	25,162
VII 特別損失	—	—	—	—	40,733
税引前四半期(当 期)純利益(又は税 引前四半期(当期) 純損失)	<u>151,116</u>	—	—	—	<u>△8,999</u>
税金費用	<u>58,873</u>	—	—	—	<u>8,646</u>
四半期(当期)純利 益(又は四半期(当 期)純損失)	<u>92,243</u>	—	—	—	<u>△17,646</u>

(訂正前)

3. (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	当四半期 (平成19年3期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3期 第1四半期)	(参考) 平成18年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益	<u>△70,252</u>	—	<u>212,369</u>
減価償却費	36,737	—	131,769
新株発行費償却	885	—	3,281
社債発行費償却	766	—	3,066
固定資産売却益	—	—	△17,442
リース解約損	—	—	15,349
固定資産除却損	—	—	2,896
固定資産賃貸料	—	—	△2,620
賃借料	—	—	2,620
上場関連費用	—	—	33,270
貸倒引当金の増加額(△減少額)	△818	—	23,206
賞与引当金の減少額	△16,325	—	△4,930
役員退職慰労引当金の減少額	—	—	△7,720
退職給付引当金の減少額	△1,082	—	△599
受取利息及び受取配当金	△0	—	△20
支払利息	1,237	—	6,099
売上債権の減少額(△増加額)	<u>428,197</u>	—	<u>△67,492</u>
たな卸資産の減少額(△増加額)	△7,486	—	200
仕入債務の減少額	△118,291	—	△59,628
未払金の増加額(△減少額)	68,479	—	△23,179
その他の資産の減少額	<u>624</u>	—	<u>11,153</u>
その他の負債の増加額(△減少額)	△22,878	—	9,035
小 計	299,792	—	270,684
利息及び配当金の受取額	0	—	20
利息の支払額	△1,552	—	△6,101
リース解約による支出	—	—	△2,003
法人税等の支払額	△66,785	—	△71,765
営業活動によるキャッシュ・フロー	231,454	—	190,835

(単位:千円、%)

	当四半期 (平成19年3期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3期 第1四半期)	(参考) 平成18年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△359	—	△29,837
固定資産賃貸収入	—	—	2,620
賃借料の支払による支出	—	—	△2,620
投資有価証券の取得による支出	—	—	△249,600
ソフトウェアの取得による支出	△68,663	—	△209,070
ソフトウェアの製作による支出	△14,553	—	△27,034
貸付金の回収による収入	34	—	1,031
敷金・保証金の減少額(△増加額)	332	—	△852
投資活動によるキャッシュ・フロー	△83,209	—	△515,363
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入金の返済による支出	△13,486	—	△53,944
未払金の返済による支出	△3,139	—	△22,090
株式の発行による収入	—	—	406,750
株式の発行による支出	△3,097	—	△2,705
上場関連の支出	△258	—	△33,012
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,981	—	294,997
IV 現金及び現金同等物の増加額	128,263	—	△29,530
V 現金及び現金同等物の期首残高	892,602	—	922,133
VI 現金及び現金同等物の期末残高	1,020,866	—	892,602

(訂正後)

3. (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	当四半期 (平成 19 年 3 期 第 1 四半期)	前年同四半期 (平成 18 年 3 期 第 1 四半期)	(参考) 平成 18 年 3 月 期
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益又は税引前四半期(当期)純損失(△)	92,243	—	△8,999
減価償却費	36,737	—	131,769
新株発行費償却	885	—	3,281
社債発行費償却	766	—	3,066
固定資産売却益	—	—	△17,442
リース解約損	—	—	15,349
固定資産除却損	—	—	2,896
固定資産賃貸料	—	—	△2,620
賃借料	—	—	2,620
上場関連費用	—	—	33,270
貸倒引当金の増加額(△減少額)	△818	—	23,206
賞与引当金の減少額	△16,325	—	△4,930
役員退職慰労引当金の減少額	—	—	△7,720
退職給付引当金の減少額	△1,082	—	△599
受取利息及び受取配当金	△0	—	△20
支払利息	1,237	—	6,099
売上債権の減少額(△増加額)	195,759	—	164,944
たな卸資産の減少額(△増加額)	△7,486	—	200
仕入債務の減少額	△118,291	—	△59,628
未払金の増加額(△減少額)	68,479	—	△23,179
その他の資産の減少額	70,567	—	85
その他の負債の増加額(△減少額)	△22,878	—	9,035
小 計	299,792	—	270,684
利息及び配当金の受取額	0	—	20
利息の支払額	△1,552	—	△6,101
リース解約による支出	—	—	△2,003
法人税等の支払額	△66,785	—	△71,765
営業活動によるキャッシュ・フロー	231,454	—	190,835

(単位:千円、%)

区 分	当四半期	前年同四半期	(参考)
	(平成 19 年 3 期 第 1 四半期)	(平成 18 年 3 期 第 1 四半期)	平成 18 年 3 月 期
	金 額	金 額	金 額
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△359	—	△29,837
固定資産賃貸収入	—	—	2,620
賃借料の支払による支出	—	—	△2,620
投資有価証券の取得による支出	—	—	△249,600
ソフトウェアの取得による支出	△68,663	—	△209,070
ソフトウェアの製作による支出	△14,553	—	△27,034
貸付金の回収による収入	34	—	1,031
敷金・保証金の減少額 (△増加額)	332	—	△852
投資活動によるキャッシュ・フロー	△83,209	—	△515,363
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入金の返済による支出	△13,486	—	△53,944
未払金の返済による支出	△3,139	—	△22,090
株式の発行による収入	—	—	406,750
株式の発行による支出	△3,097	—	△2,705
上場関連の支出	△258	—	△33,012
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,981	—	294,997
IV 現金及び現金同等物の増加額	128,263	—	△29,530
V 現金及び現金同等物の期首残高	892,602	—	922,133
VI 現金及び現金同等物の期末残高	1,020,866	—	892,602